

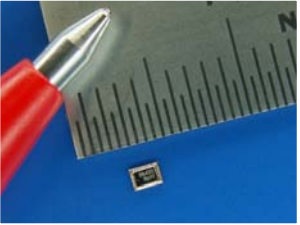
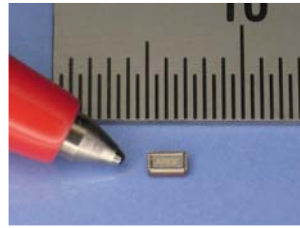


2010年3月期 決算説明会

2010年6月3日

リバーエレクトック株式会社

(証券コード：6666 JASDAQ)



2010年3月期 決算概要



◆ 売上高は5,163百万円（前年同期比12.3%減）で2年連続の減収

◇ 主力分野である水晶製品事業は、前年同期比10.4%減の4,901百万円

◆ 損益はコスト削減を図るも、販売価格下落の影響が大きく損失が拡大

◇ 営業損失は883百万円（前年同期は795百万円の営業損失）

⇒ 売上原価率は前年同期比3.7ポイント上昇

⇒ 販管費は労務費を中心に前年同期比12.7%減少（売上高販管費率は前年同期比0.1ポイント減少）

◇ 経常損失は863百万円（前年同期は794百万円の経常損失）

◇ 当期純損失は3,486百万円（前年同期は1,425百万円の当期純損失）

⇒ 水晶製品事業において、経営環境の著しい悪化と2010年3月期の業績を鑑み、また、インダクタ事業において、海外生産分は今後1年内の生産終了を予定しているため、事業用固定資産の回収可能性を精査し、減損損失2,620百万円を計上

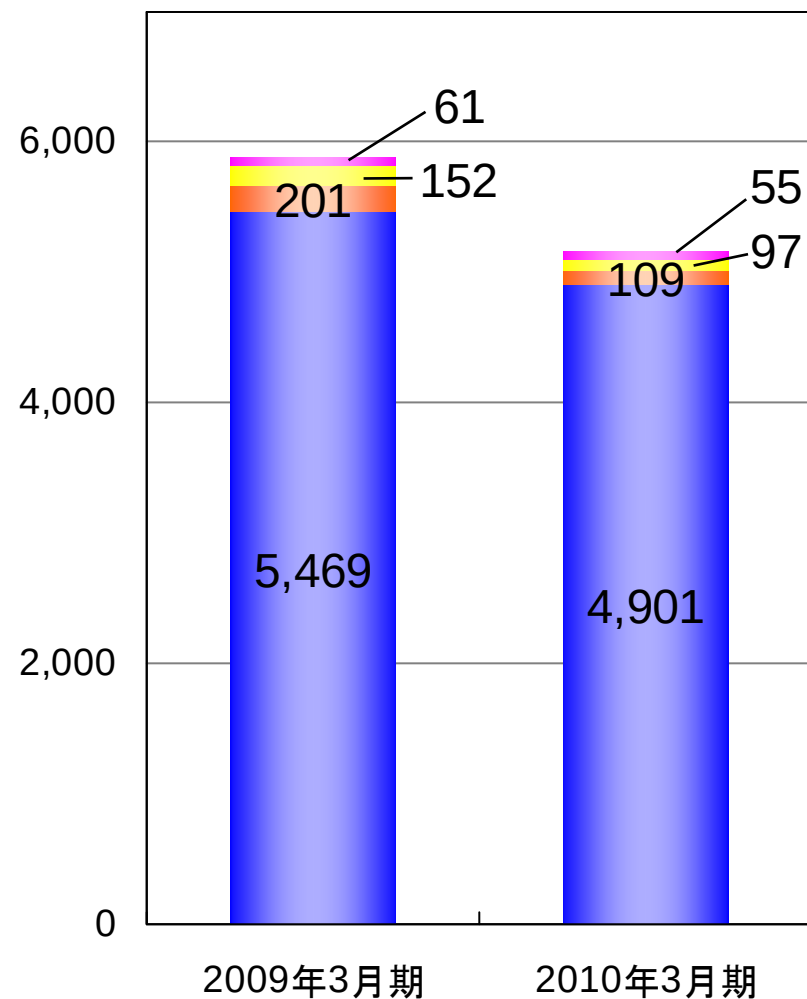
(単位：百万円)

	2009年3月期		2010年3月期			
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期 増減額	前年同期 増減比
売上高	5,884	100.0%	5,163	100.0%	▲720	▲12.3%
売上総利益	577	9.8%	315	6.1%	▲261	▲45.4%
営業損失	▲795	▲13.5%	▲883	▲17.1%	▲88	—
経常損失	▲794	▲13.5%	▲863	▲16.7%	▲68	—
当期純損失	▲1,425	▲24.2%	▲3,486	▲67.5%	▲2,060	—
E P S	▲190.67円		▲472.95円		—	—

事業の種類別セグメント収益グラフ

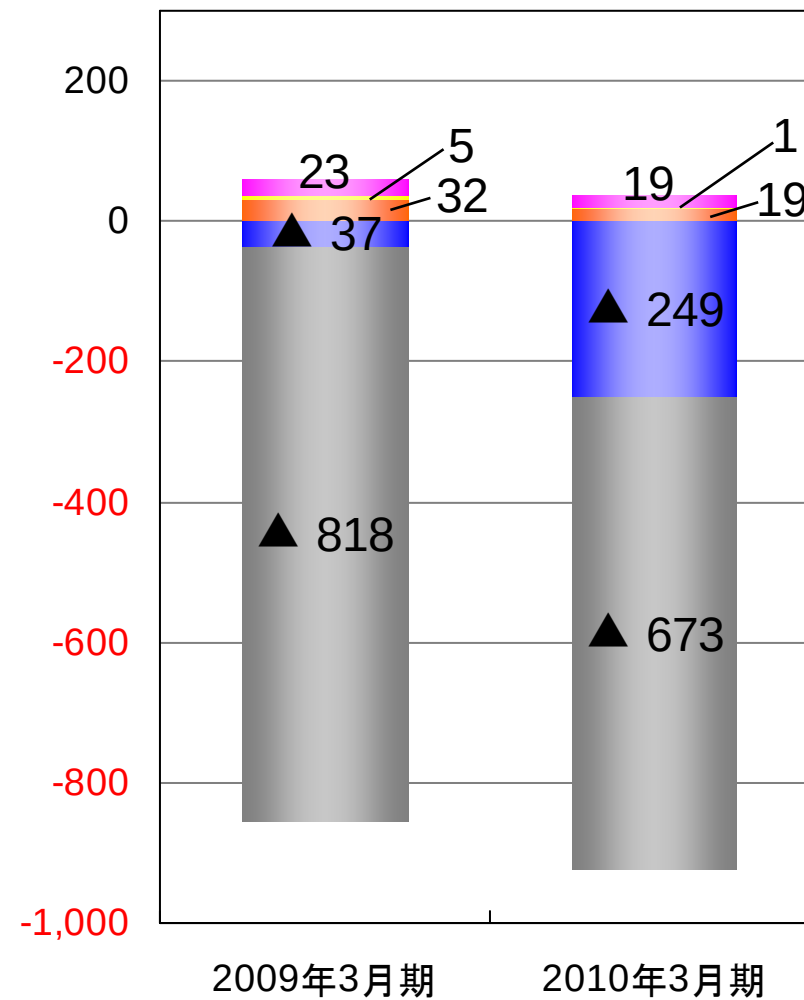
売上高

(百万円)

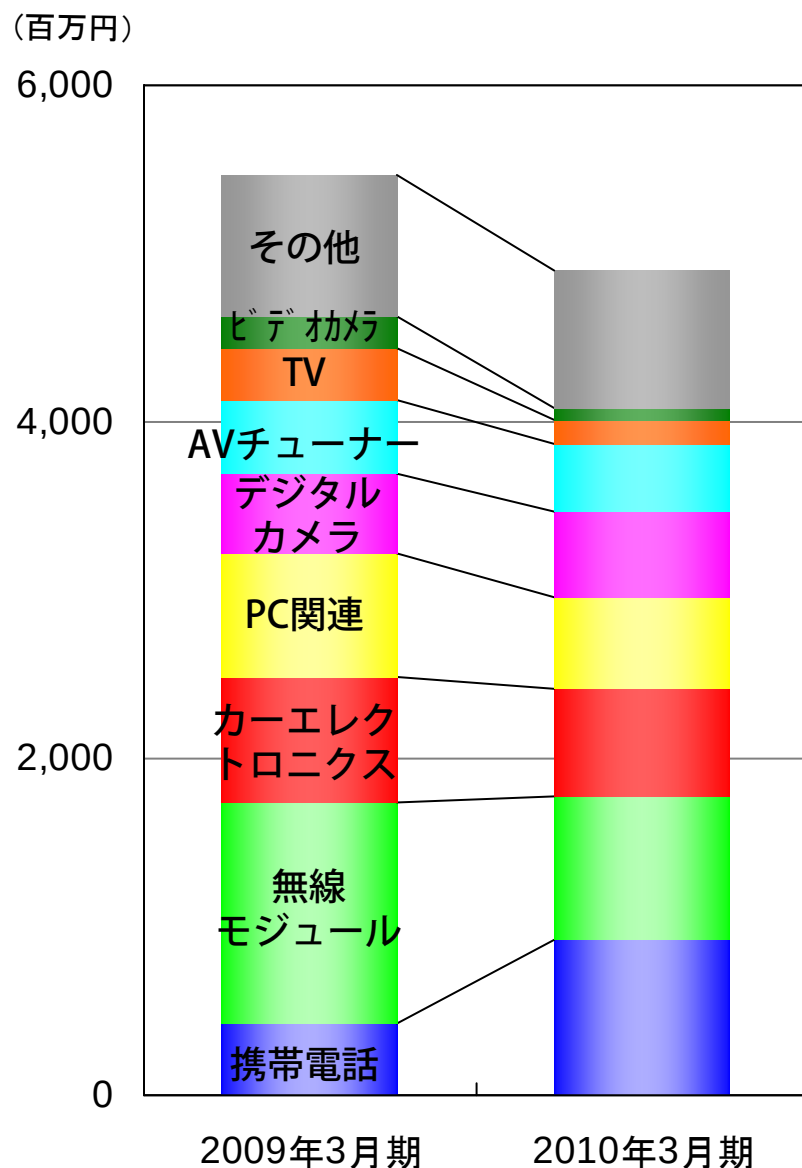


営業利益

(百万円)



■ 水晶製品
 ■ 抵抗器
 ■ インダクタ
 ■ その他
 ■ 消去・全社



■ 携帯電話は海外向けの数量が大幅に増加した影響が大きく、価格は下落したものの、売上高は大幅増

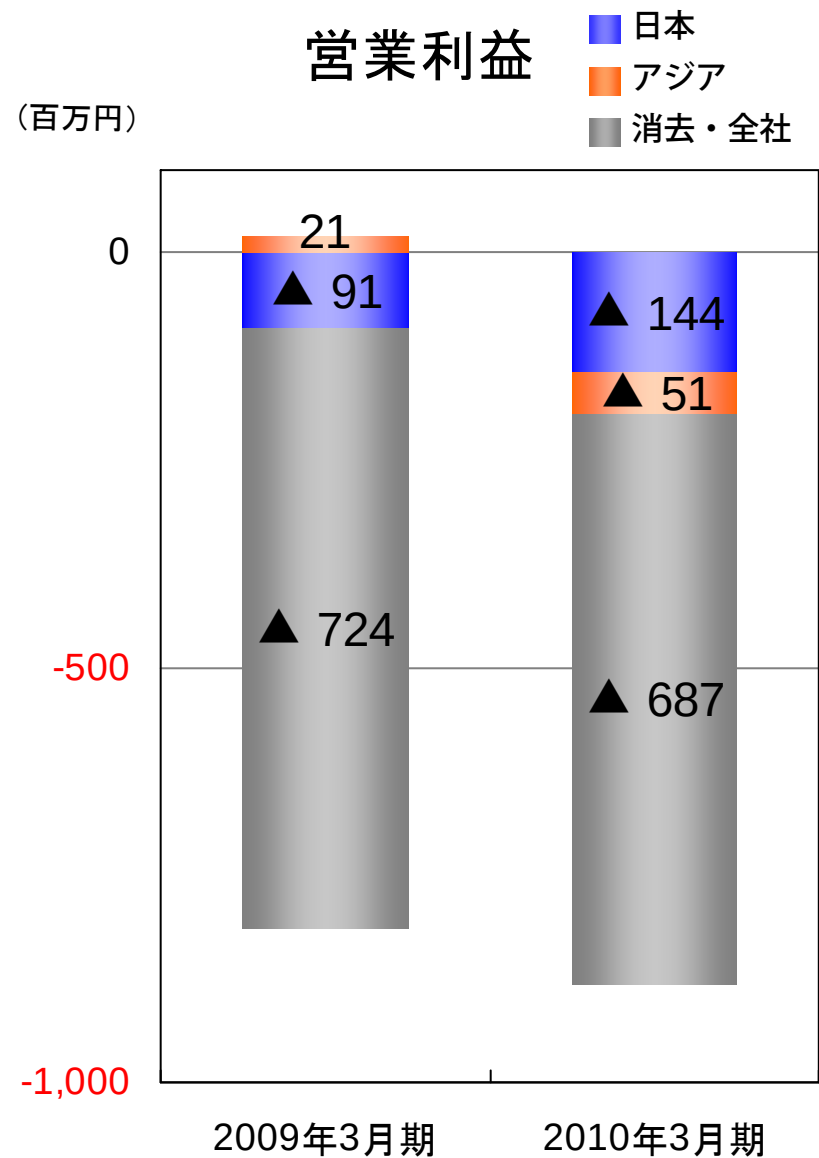
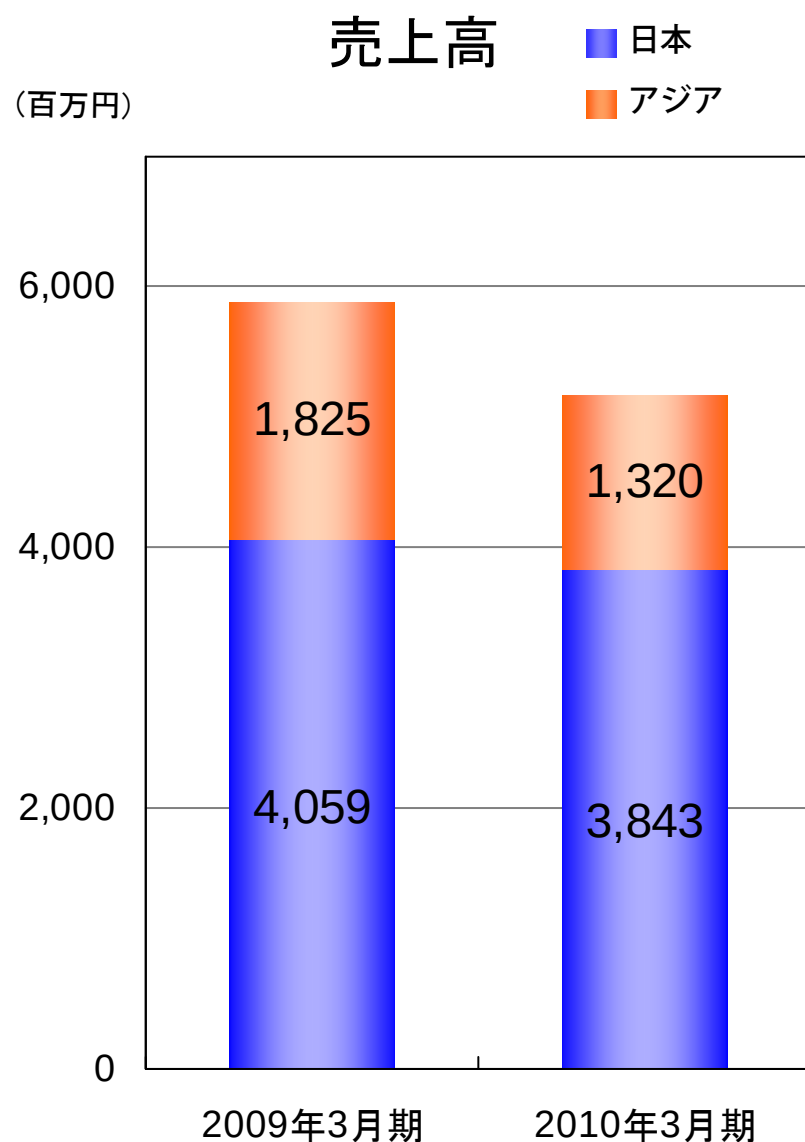
■ 無線モジュールは数量、価格ともに振るわず売上高は大幅減

■ デジタルカメラは水晶発振器の割合が増加した影響で売上高は微増

売上高構成比

	2009年3月期	2010年3月期
携 帯 電 話	7.8%	18.9%
無 線 モ ジ ュ ー ル	24.0%	17.3%
カーエレクトロニクス	13.7%	12.9%
P C ・ 周 辺 機 器	13.4%	11.1%
デ ジ タ ル カ メ ラ	8.8%	10.4%
A V チ ュ ー ナ ー	7.9%	8.2%
フ ラ ッ ト T V	5.7%	3.0%
デジタルビデオカメラ	3.5%	1.4%
そ の 他	15.2%	16.8%

所在地別セグメント収益グラフ



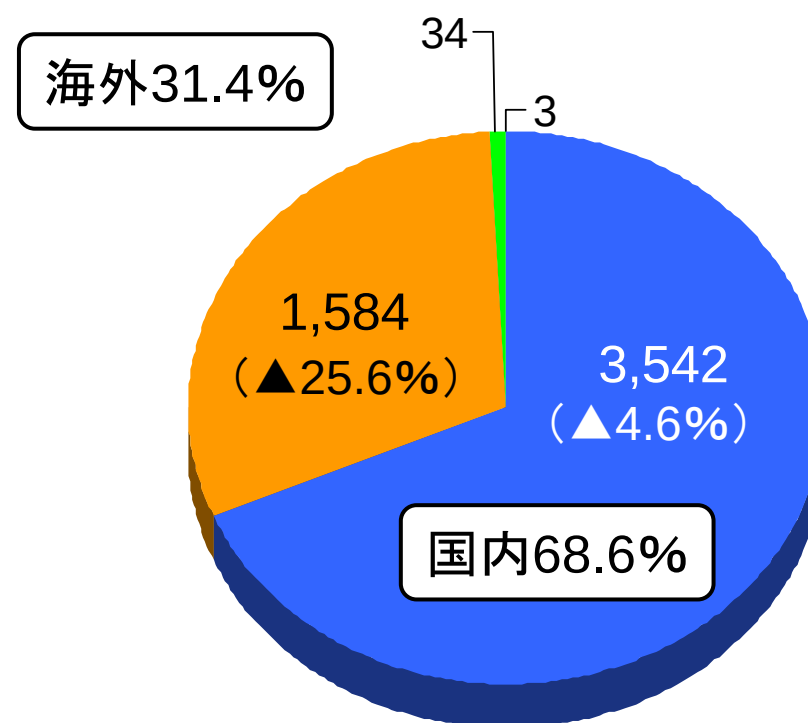
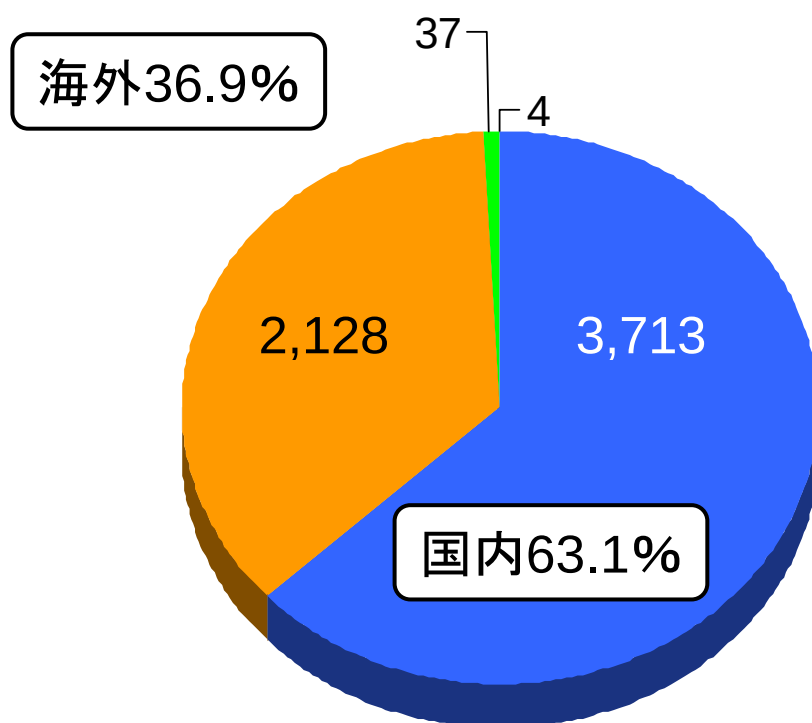
単位: 百万円

2009年3月期

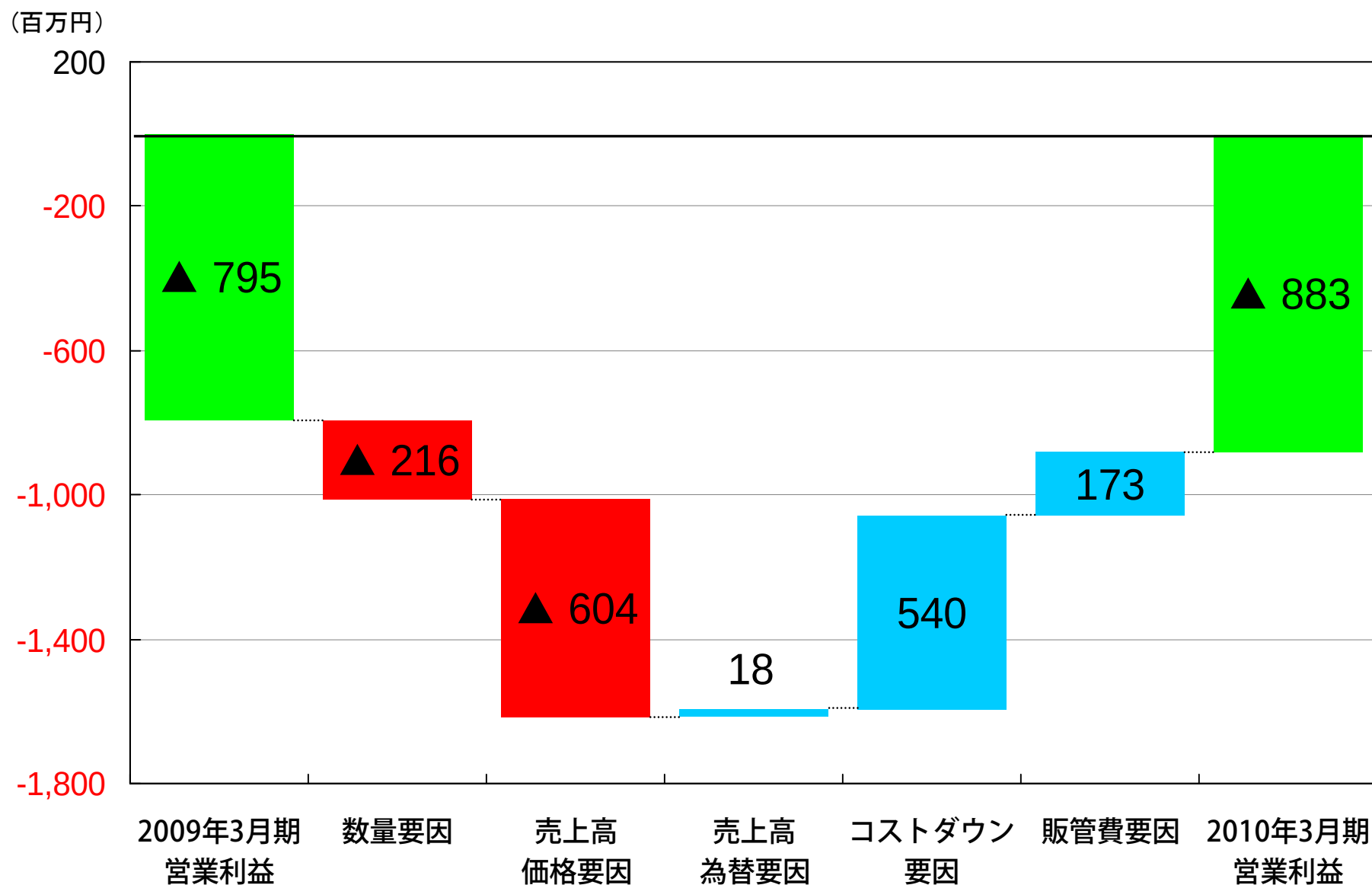
2010年3月期

■ 日本 ■ アジア ■ 北米 ■ その他

■ 日本 ■ アジア ■ 北米 ■ その他



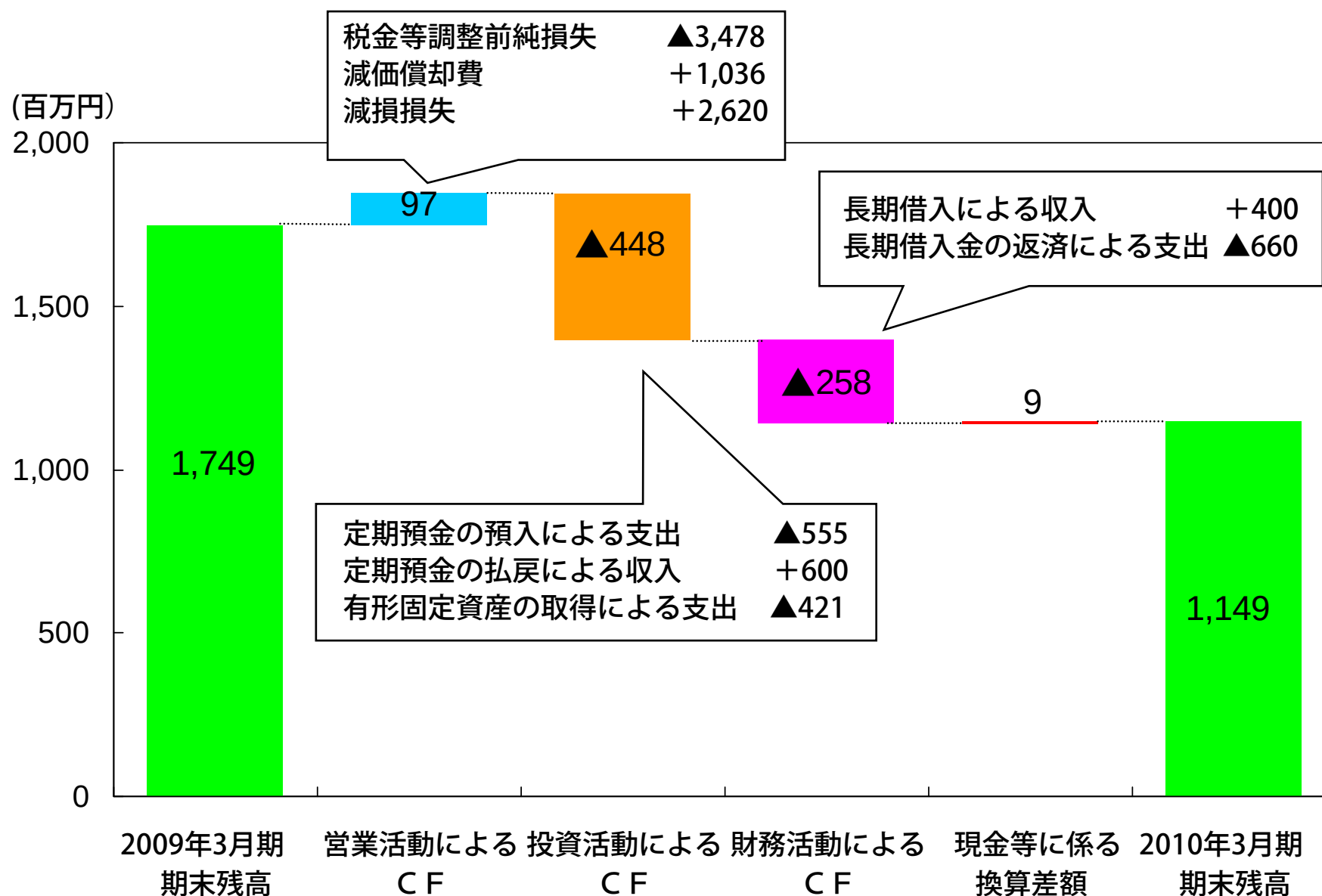
営業利益の増減要因

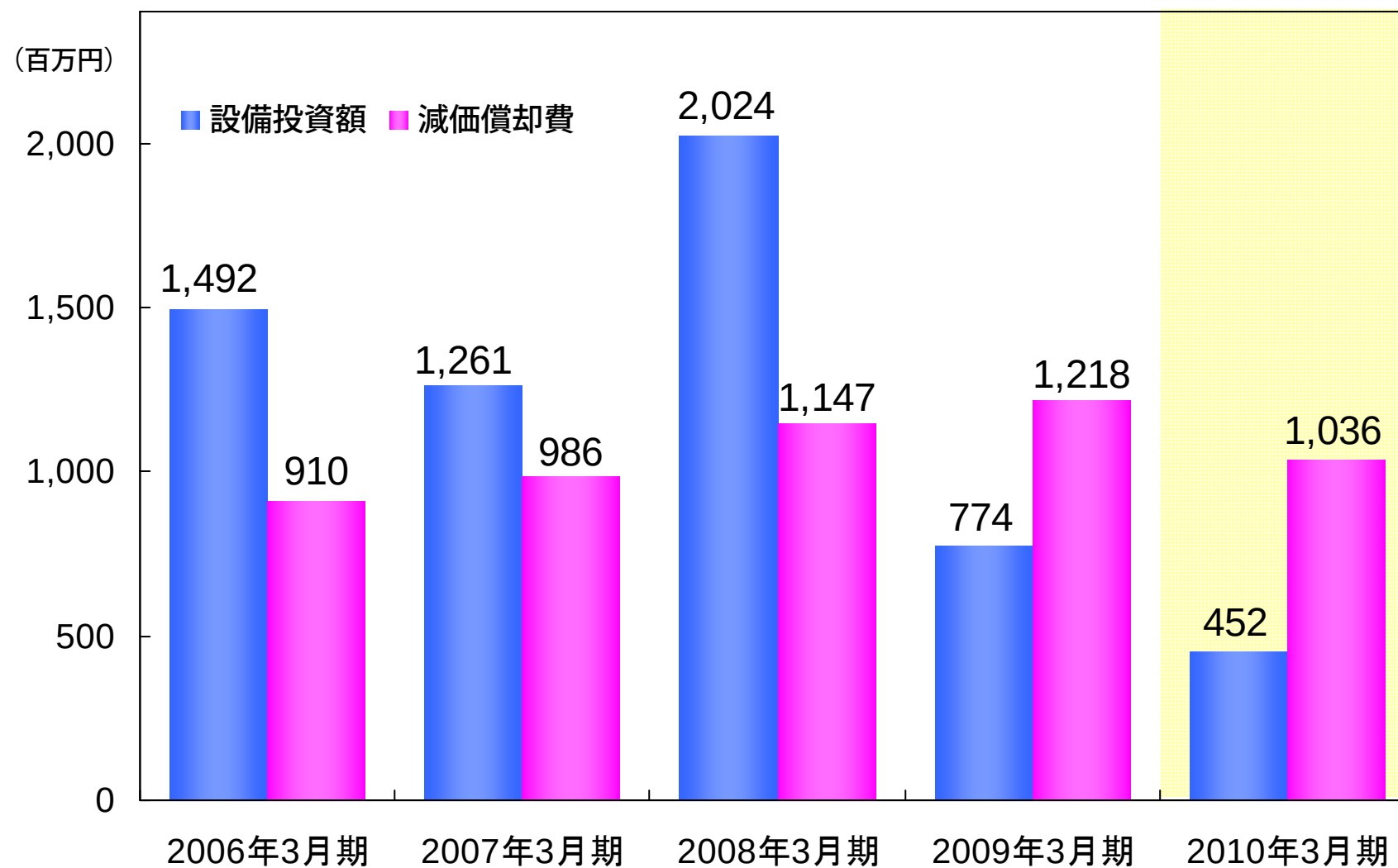


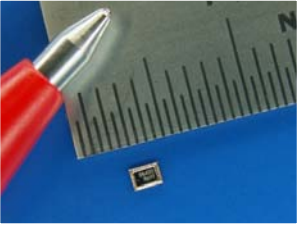
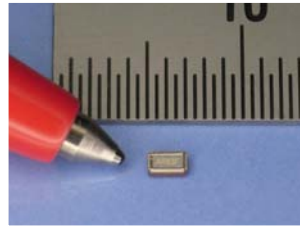
連結貸借対照表

(百万円)	2009年3月期	2010年3月期	増減額	増減要因
流動資産	4,503	4,347	▲155	現預金-640、売上債権+400
固定資産	6,367	3,138	▲3,228	建物構築物-773、機械装置-2,465
繰延資産	—	3	3	中国子会社開業費
資産合計	10,871	7,490	▲3,380	
流動負債	2,206	2,754	548	仕入債務497、設備支手-37
固定負債	1,864	1,548	▲315	長期借入金-284
負債合計	4,070	4,303	232	
純資産合計	6,800	3,186	▲3,613	利益剰余金-3,486
負債、純資産合計	10,871	7,490	▲3,380	

連結キャッシュ・フローの状況







2011年3月期 通期業績予想



2011年3月期 通期業績予想（連結）

（単位：百万円）

	2010年3月期		2011年3月期 業績予想			
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期 増減額	前年同期 増減比
売上高	5,163	100.0%	6,201	100.0%	1,037	20.1%
売上総利益	315	6.1%	1,209	19.5%	893	283.4%
営業利益	▲883	▲17.1%	11	0.2%	895	—
経常利益	▲863	▲ 16.7%	19	0.3%	882	—
当期純利益	▲3,486	▲ 67.5%	4	0.1%	3,491	—
E P S	▲190.67円		0.67円		—	—

2011年3月期計画為替レート 1ドル=90円

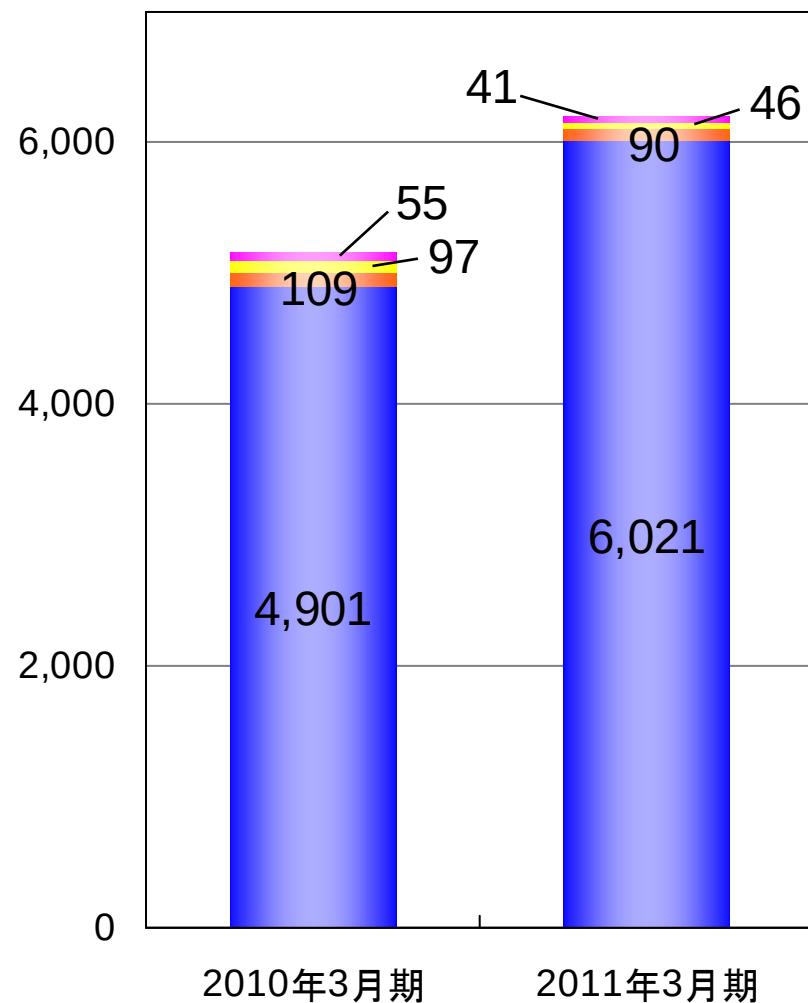
為替影響額：1円円高につき、売上高約1,000万円のマイナス、利益約650万円のマイナス

事業の種類別セグメント収益グラフ

■ 水晶製品 ■ 抵抗器 ■ インダクタ ■ その他 ■ 消去・全社

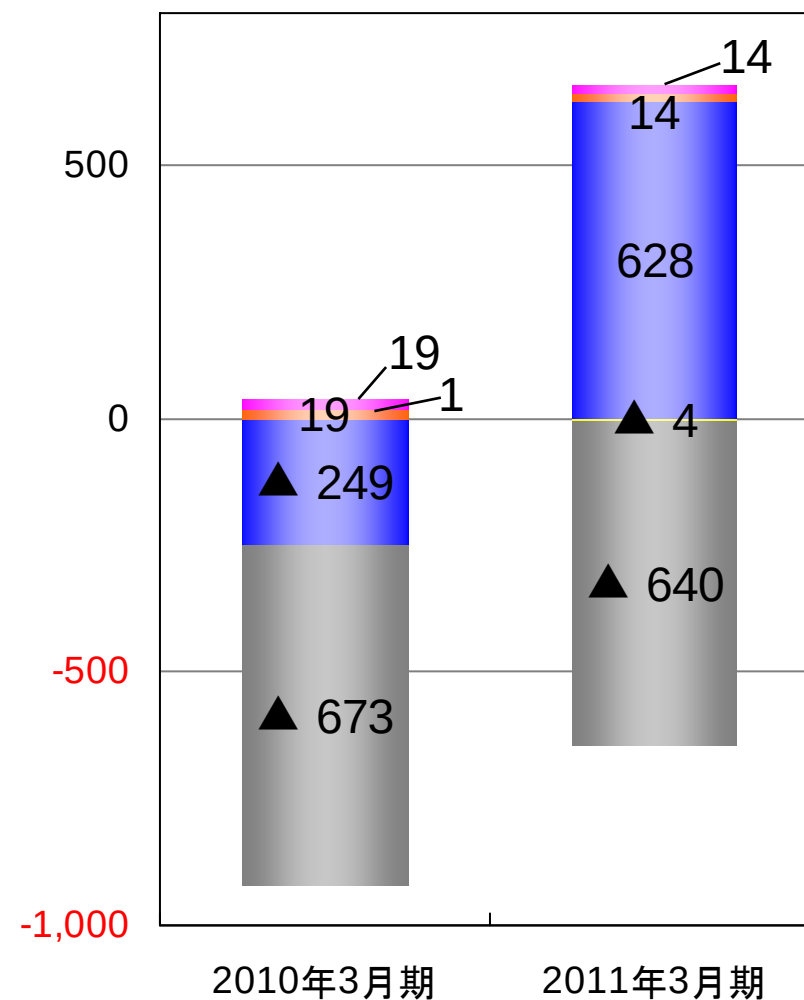
売上高

(百万円)

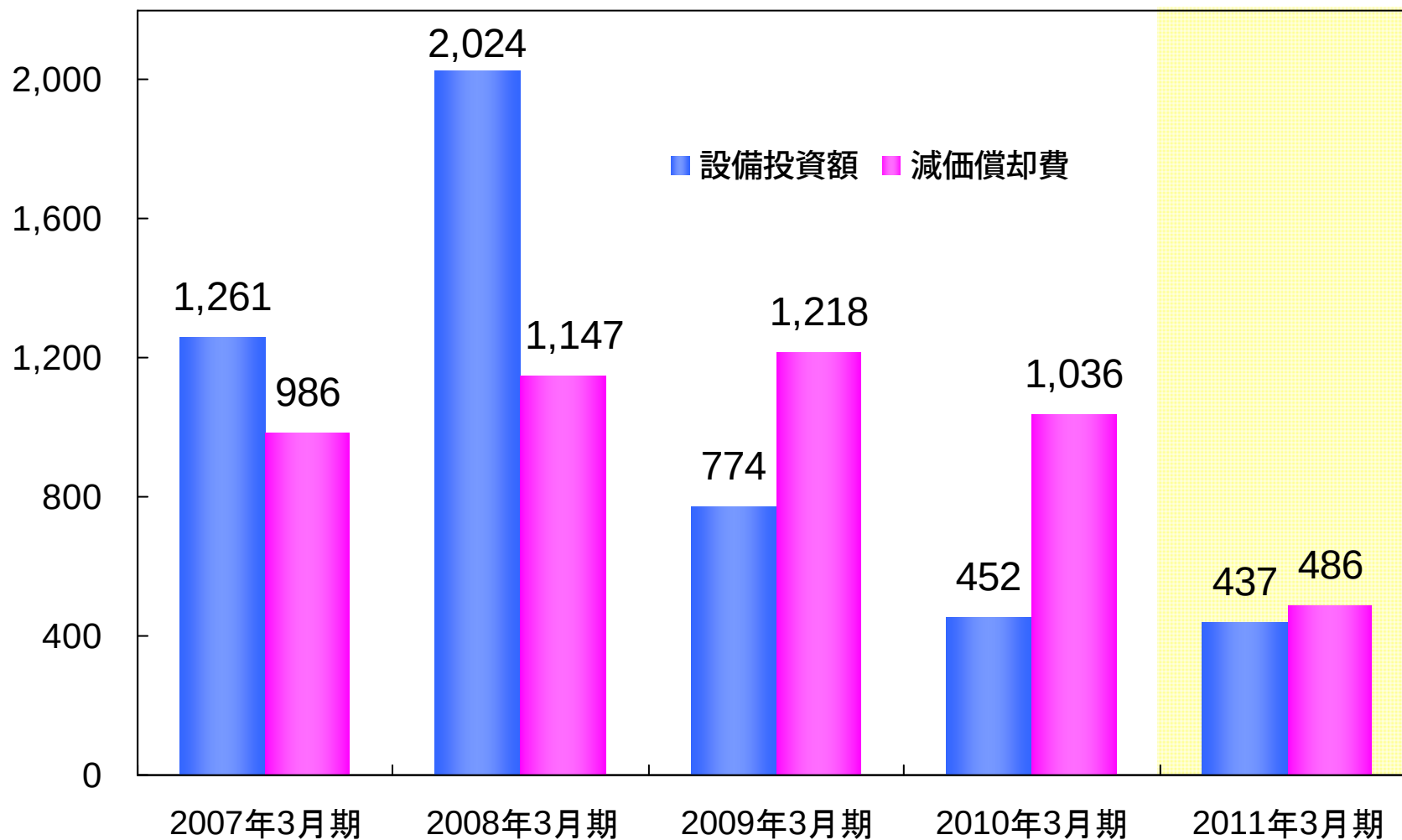


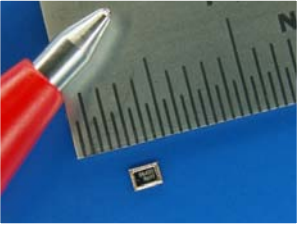
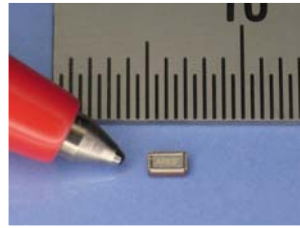
営業利益

(百万円)



(百万円)





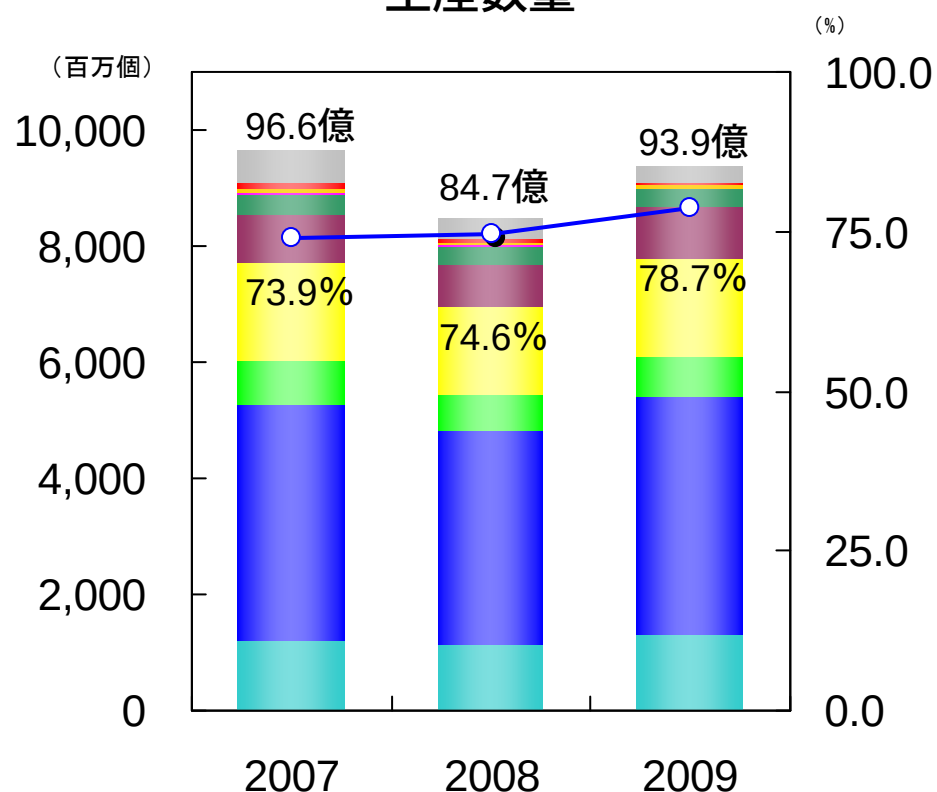
業績予想の背景及び取組み方針



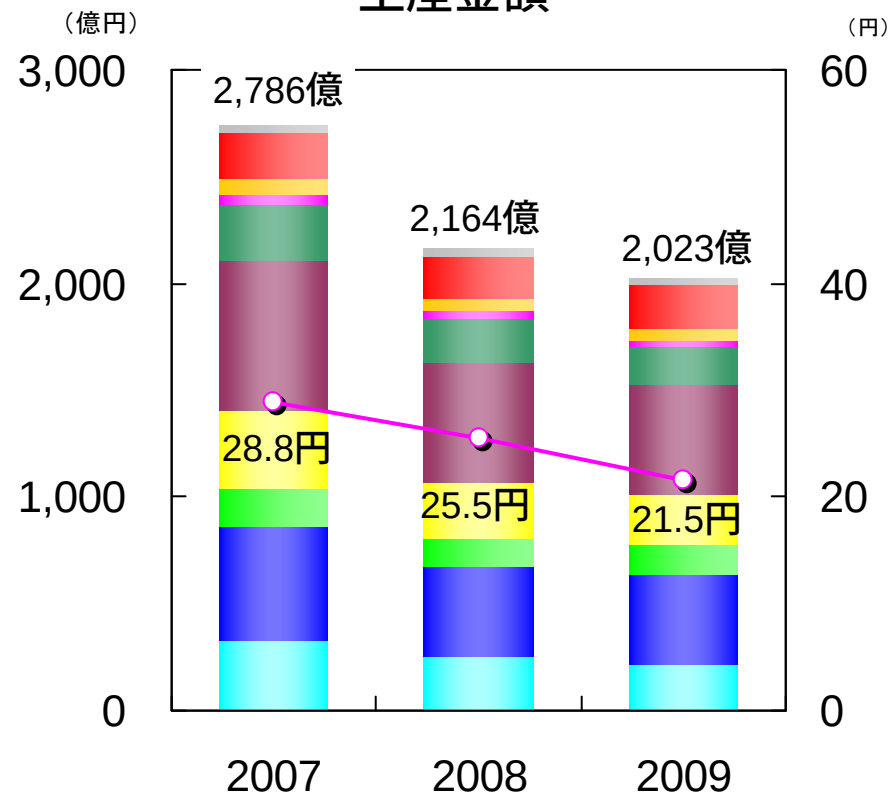
2009年度実績 生産数量93.9億個（前期比110.8%）
生産金額2,023億円（前期比93.5%）

■ 産業用水晶振動子
 ■ 音叉型水晶振動子
 ■ 自動車用水晶振動子
 ■ 民生用水晶振動子
 ■ 産業用水晶発振器
■ クロック用水晶発振器
 ■ 水晶フィルタ
 ■ SAWデバイス
 ■ 光デバイス
 ■ OUT-OUT
 ● SMD比率
 ● 平均生産単価

生産数量

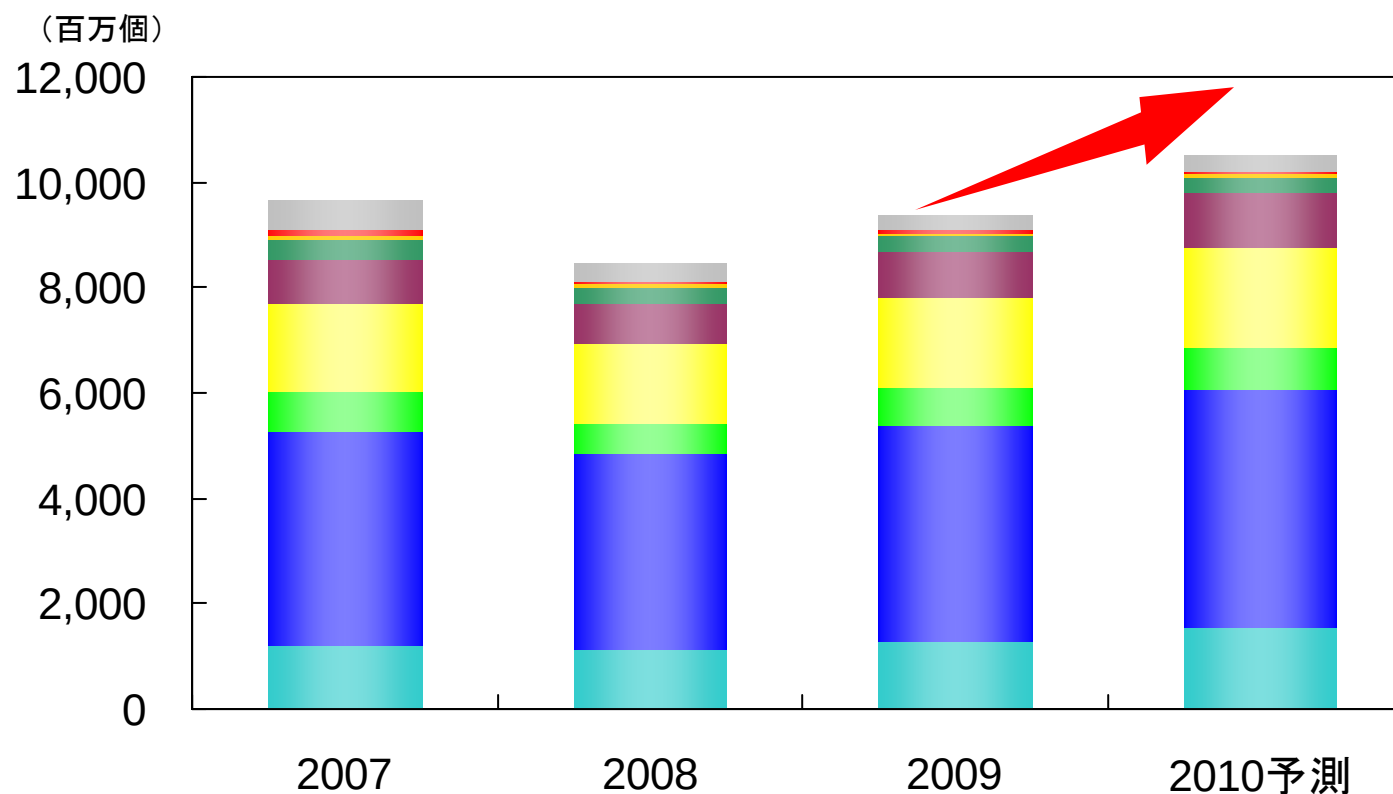


生産金額

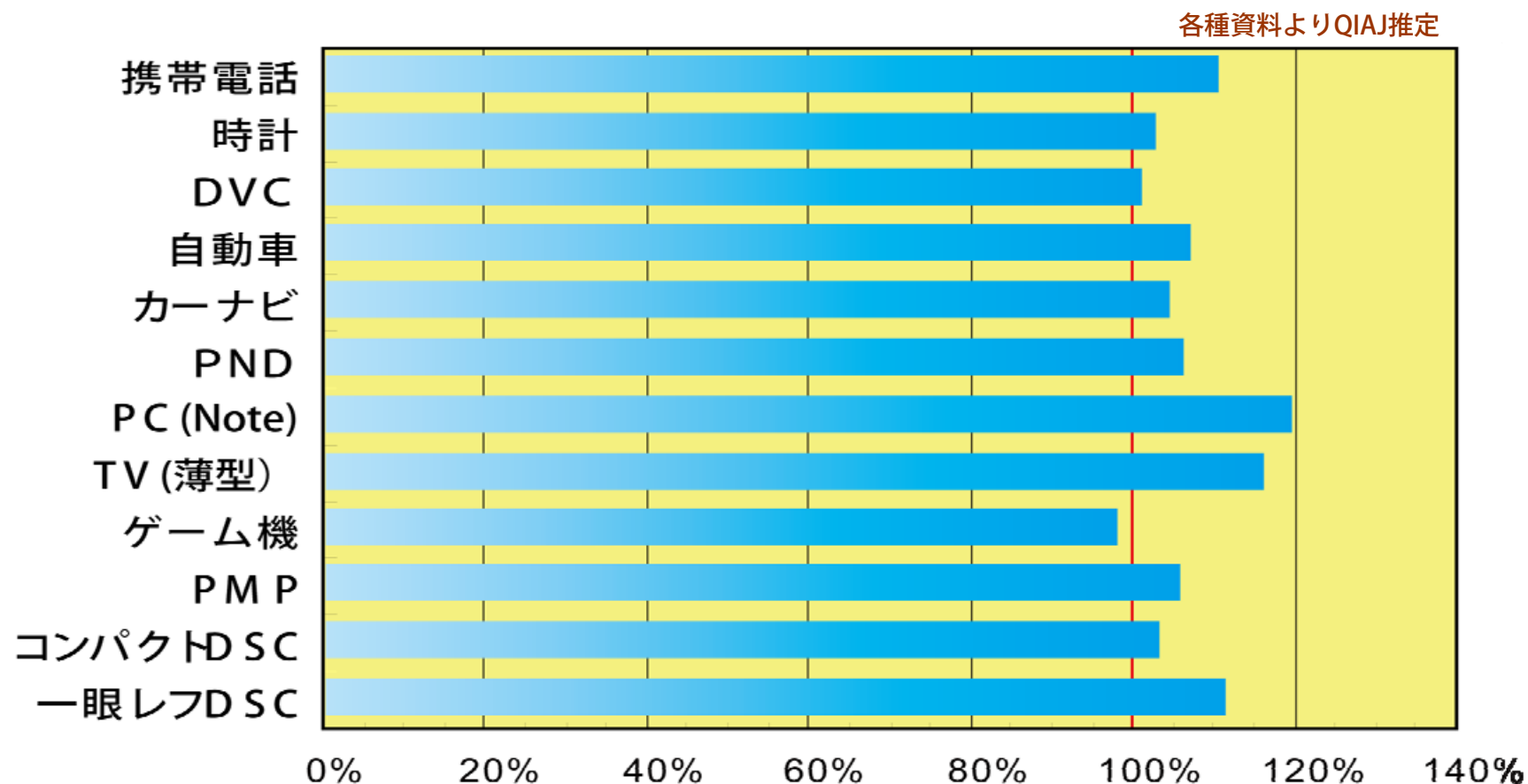


2010年度実績 生産数量105.0億個（前期比111.9%）

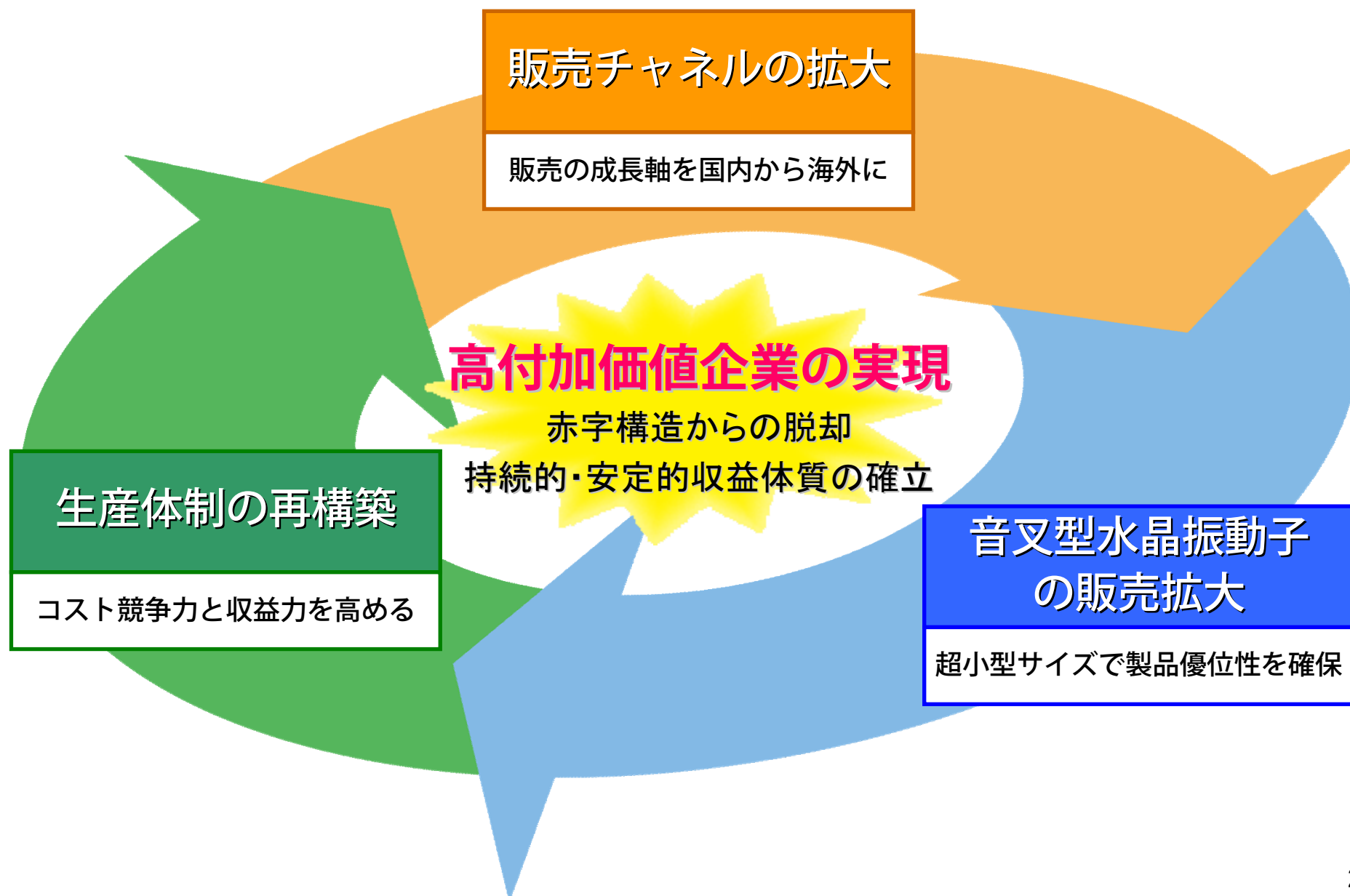
■ 産業用水晶振動子
 ■ 音叉型水晶振動子
 ■ 自動車用水晶振動子
 ■ 民生用水晶振動子
 ■ 産業用水晶発振器
■ クロック用水晶発振器
 ■ 水晶フィルタ
 ■ SAWデバイス
 ■ 光デバイス
 ■ OUT-OUT



2010年度の主要製品はプラス成長



備考 : 携帯電話 (含データカード)、PC (含ネットブック)、PMP (PAP含む)、ゲーム機 (据置き型・携帯型)



◆ 生産の合理化・効率化を強力に推進し、コスト競争力と収益力を高める

- ◇ 市場動向等を的確に捉え、グローバルな最適生産体制を構築する
- ◇ 設備投資は成長の中核である音叉に集中し、設備金額は最小限に抑える
- ◇ 生産ラインの見直し、ムダを排除した合理化・効率化で既存製品の生産性を最大限に高める



青森リバーテクノ株式会社



River Electronics(Ipoh) Sdn. Bhd.

国内生産

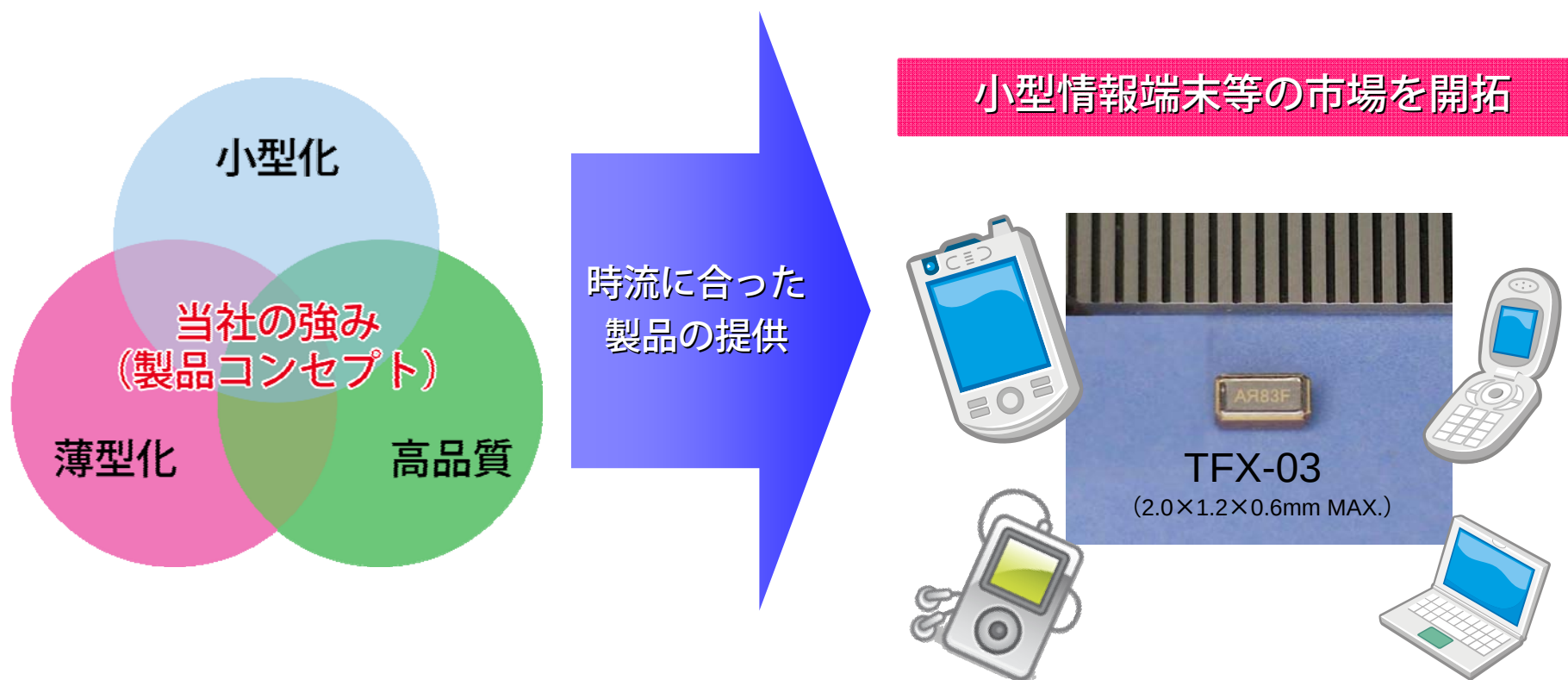
生産の効率化、プロダクトミックスの改善を進め、音叉製品の生産拡大へ対応を図る

海外生産

前期末までに予定ラインの移設は完了
当期は生産体制の強化を進める

◆ 音叉型水晶振動子を水晶製品事業の成長ドライバーにする

- ◇ 水晶製品の中で最も市場が大きい音叉型水晶振動子市場において、成長拡大が見込まれているスマートフォン、携帯情報端末等の小型化ニーズに応じていく
- ◇ 当社の強みを生かした製品で市場競争力を強化する



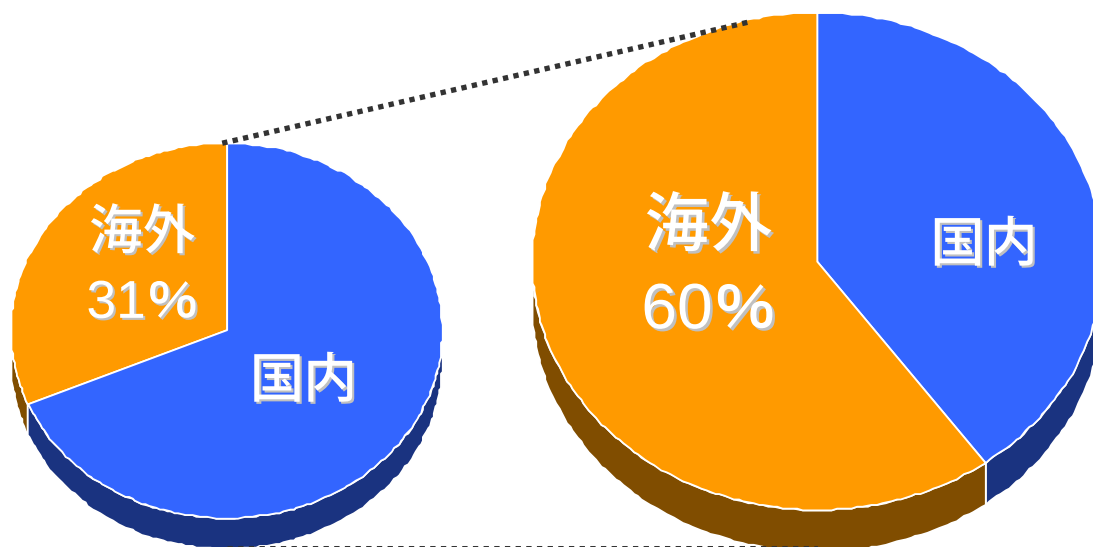
◆ 2年以内に海外売上高比率を6割程度まで引き上げる

- ◇ 中国・台湾・韓国を中心としたEMS及び現地企業向けの販売拡大を進める
- ◇ 当社の強みを生かしたアプローチで先行企業との差別化を図る
- ◇ 西安の販売子会社を中心とした販売体制を確立する
- ◇ 商社との連携、web販売等、販売チャネルを多様化し、顧客のニーズに応じていく

海外売上高

2010/3期

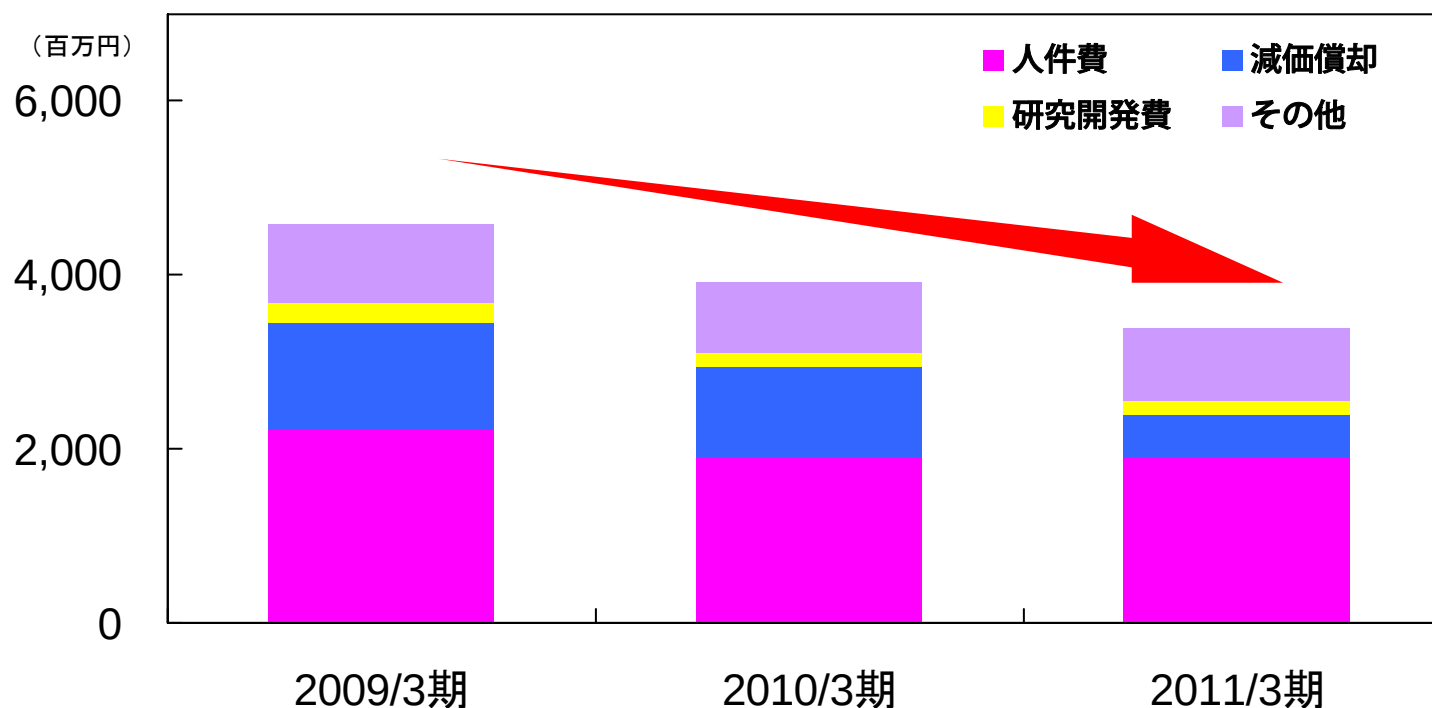
2012/3期までに



◆ 前期に引き続き、固定費削減に取り組み、収益力の改善を図る

- ◇ 前期減損損失の計上により減価償却費は約50%の減少
- ◇ 生産数量のアップによる費用の上昇を最小限に抑える

固定費の推移

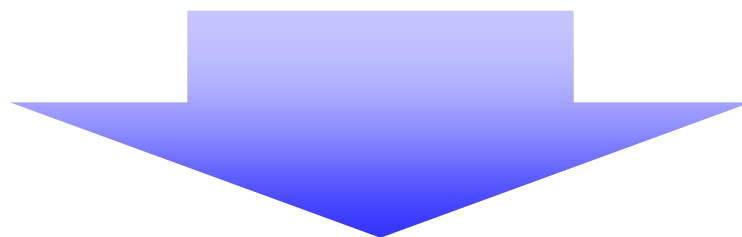


◆ 早期復配を実現できるよう財務体質の改善に取り組む

◇ 2011/3期においても業績が厳しいことが予想されることから無配を予定

目標とする経営指標

2011/3期の営業利益の早期黒字化



早期復配の実現

全てのステークホルダーの信頼に
応えられるよう努力を重ねてまいります

《注意事項》

本説明会にて提供した情報につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。



リバーエレテック株式会社
(JASDAQ、証券コード6666)
<http://www.river-ele.co.jp/>
総務部経営企画課
TEL 0551 (20) 1277